

令和4年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ひばり野のなかま達	
2 事業名	ちいき・子ども食堂	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <u>発展コース</u>	22 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和4年 4月 1日 ~ (完了期日) 令和5年 3月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>*実施の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦次世代を担う子ども達の生活環境を少しでも良くするための一助 ㊦地域住民との交流 ㊦様々な人々への理解を深める ㊦幅広い世代への活動の場の提供 <p>*課題・公益性</p> <p>子どもや高齢者、若者たちを取り巻く環境は、様々なニーズ、例えば虐待、ネグレクト、引きこもり、一人暮らし、老々介護、介護離職等を抱えている。昨今では、コロナ感染症により、生活困窮をも引き起こされている。将来を担う子ども達や幅広い世代の人々、又、食事をとおして交流する事で互いに理解し合い、寄り添い安らげる場所の提供、必要に応じては、関係機関との連絡も考慮する。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>*実施内容：地域住民のニーズある人々（生活困窮、孤食、高齢者の一人暮らし、老夫婦世帯、その他）に対し夕食の提供。</p> <p>*中原地区実施日：毎月第2・4火曜日（9月～月曜日）</p> <p>*中原 麵屋 DINING NANASHI （9月～矢口屋）年間参加者数 894人 23回</p> <p>*南原 スナックまま（4月～6月）年間参加人数 120人 3回</p> <p>*豊田 とよファーム（7月～）年間参加人数 481人 14回</p> <p>南原は、店舗オーナーの都合により、3回で閉店となる。タイミング良く豊田の家を使用ができるようになり、要望もあったため、開店の運びとなる。</p> <p>*コロナ禍の為どの地域もテイクアウトの運営となる。感染が多数の時のみ閉店となる。</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>*ウィズコロナの生活を通して、子どもから大人まで多世代間の交流が持てた。</p> <p>*高齢者が子ども達等の為に食事を作るという目的のために、コロナ禍でも生きがいを持って活動ができた。</p> <p>*購入種類（子ども、大人、未就学児、シニア）により、家族状況のある程度把握でき、必要に応じては、フードパントリー等支援につなげることができた。</p> <p>*状況に応じては、他の関係機関との連携にもつながった。</p> <p>*子ども食堂ネットワークを通じて情報交換ができた。</p> <p>*寄贈された食材等の保管方法が学べ、食品ロスの軽減につながった。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>*コロナ感染状況によりテイクアウトから会食への移行ができなかった。また、感染数によって休店せざるを得ない状況もあった。⇒ R5.4～会食方式に移行</p> <p>*食育セミナー等の開催ができなかった。⇒ R5.4以降の実施を検討中</p> <p>*子ども食堂の会場を、借りての運営の為、店舗の営業に大きく左右されてしまった1年であった。中原の店舗から、中原公民館での開催に移行する。</p> <p>*子ども食堂がテイクアウトのお弁当屋さんのような印象を持っている来店者もいられるため、今後会食形式に戻し、本来の子ども食堂の状態に整えていく。来店者にも、子ども食堂の在り方を一緒に考えて頂く機会にしていく。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>*豊田地区での学習支援の開始</p> <p>豊田に於ける学習支援ニーズと学習支援の在り方を子どもたちと共に考えていく。</p> <p>*中原地区の子ども食堂が、公民館で開催できるようになり、使用方法は課題は多いが、折り合いをつけながら、より良い子ども食堂としての機能を検討して行く。また、学習支援との繋がりにより、より子どもの親の安心安全な場所としての価値を高めていく。</p> <p>*任意のボランティア団体であるため、収入等の不安定さが大きく、食堂の食材の購入や、学習支援の使用物品の購入など支出に見合う収入の確保のメソッドを掴んでいく。</p>

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的内容 (積算根拠等)
① 収入				
補助金	220,000	220,000	0	平塚市市民活動推進補助金
助成金	60,000	270,000	210,000	市社協30,000 市物価高騰120,000 県次世代育成成金120,000
寄付金	245,000	71,793	-173,207	寄附金
会費	20,400	20,300	-100	会員会費
事業収益	279,000	108,584	-170,416	食堂売上他
収入合計	A 824,400	B 690,677	B-A -133,723	発展コース：補助対象経費 319,478 円 × 80 % = 255,582 円 補助限度差 250,000 円
② 支出				
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	具体的内容 (積算根拠等)
保険料	64,512 (60,000)	48,440	48,440 (45,000)	全社協行事保険
物品購入費	80,915 (70,000)	257,091	184,977 (107,500)	弁当箱38,802 カットボード、ボンド他40,899 ビニール類へんご類49,056 スリッパ・タオル 他56,220 南原、豊田開店により増額
印刷費	27,050 (20,000)	33,740	30,170 (20,000)	チラシ19,000 ボスター7,370 文書3,800 南原、豊田開店により増額
食糧費	490,650 (0)	277,512	0 (0)	食堂用食材費
事務用品費	14,273 (10,000)	16,101	16,101 (10,000)	ラミネートフィルム他3,514 カッター台カッター他220 PPC用紙他2,914 クリアファイル765 封筒220 カラコビ用紙等1,748 精米費2,100 USBメモリー4,620
旅費交通費	15,000 (0)	20,293	2,290 (0)	通信費2,290 (カラコビ)10,273 P代3,700 旅費4,030)
水道光熱費	132,000 (60,000)	37,500	37,500 (37,500)	NANASHI、矢口屋分
支出合計	C 824,400 (220,000)	D 690,677	D-C -133,723	
③ 収支決算額	B 690,677 円	-	D 690,677 円	= 0 円

【備考】

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

キッズボランティア



毎日のお弁当



キッチンとばーム



調理の様子



①



②



③



④



⑤

- ①：中原公民館での学習支援の様子
- ②：豊田の学習支援室（4/26～スタート予定）
- ③：中原公民館の食堂入口
- ④：中原公民館の食堂の様子
- ⑤：中原公民館の調理室の様子

令和4年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	NPO法人しえんのまなび舎	
2 事業名	はっぴー♡サロン	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	20 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和4年4月1日 ~ (完了期日) 令和5年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>現在、発達特性のある子ども（発達障害など）の子ども達に将来の就労経験のために宮松町自治会とコラボして、回覧板のセッティングやポスティング、掲示板の貼り替えなどの業務を行っている。これからは、年間3回ほどのコミュニティカフェでの店員体験を企画してきた。</p> <p>また、NPO法人しえんのまなび舎では、毎週土曜日に発達特性のある子どもの保護者や支援者と子育て懇談会やセミナー、セルフケア講習会のような活動『はっぴー♡サロン』を行っている。そのサロンを子育て世代の方、また、子育てを終えた世代の方との交流の場になるようにしていきたいとも考えている。最近では、介護をしている方の利用もある。</p> <p>コロナ渦で人と人との繋がりが薄れて、自尊心が低くなっている方が増えているように思う。本団体の代表が「心を救う 聴く力」を電子出版（Amazonkindle7部門1位の実績）して、それを活かした活動を心がけている。その活動を浸透させて、より多くの保護者や支援者がそれぞれの場で「聴く力」を発揮して、周りの方に「心を救う」活動を広げていってほしいと願っている。今までは、半日単位で行っていた場づくりを月1回は、一日通しての活動の計画を考えている。そして、できれば、平塚市のいろいろな場所での取り組みを企画していきたいと考えている。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>「聴く力」をもとにした「コミュニティカフェ～はっぴー♡サロン～」を継続し、また、そこで得た情報や悩みから専門家からの多方面の講演を聞く場作りを提供した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達特性のある子ども社会体験、就労体験での交流 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日の自治会回覧板・掲示板業務 ・カフェでの就労体験を実施（5/21、10/15、1/21）計55名参加（店員、客） ・発達特性がある生徒の社会進出の足がかりになるような活動を提供 切り絵ワークショップ、レトルトカレー作り、和紙作り、焼きそば作り、カラフルドロップコラボ体験、おにぎり作り（参加者合計25名） ペガサス就職塾のスタッフ、NPO法人しえんのまなび舎スタッフが講師。 2. 「はっぴー♡サロン」での子育て、介護の懇談会など実施 毎月第3土曜日：10時～14時、毎月第4土曜日10時～12時 お話を聴いたり、ハンドセラピーで心を癒す場 延べ128名利用 ※ 相談やお話に来て下さる方が少しでも心とむ時間を提供するためセラピーを活用した。 3. 講演会やセミナーの開催 4/23介護とアロマ 5/7発達障害の子ども達の就労 6/4 SQ教育 7/2 ヨガミック 8/6個別指導計画の学習会 10/8 発達性読み書き障がいの理解を深める 1/29親なきあとのお金のこと 3/21 発達障害の子どもが将来幸せに働くために 	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>「はっぴー♡サロン」のまちなかベースきちきち、ウエルシアカフェでの定期開催は、定着してきていて、参加者もコンスタントに増えている。</p> <p>1. 発達特性のある子ども社会体験、就労体験での交流 発達障害の子ども達の体験活動は、大変好評で、チャレンジする気持ち、お仕事体験では、実際何度か体験したことで、自信にも繋がり、自分がやるべきことに気づいていたり、自分らしいポジションを見つけたりと成長が見られている。 自立活動に繋がる実践は、食事作りを中心に自宅でもやろうとする気持ちが育ってきている。コロナ渦で学校で調理実習の時間が減ってしまったこともあり体験の場が少ない現在、とても良い実践に思えた。 また、手を使った製作活動なども発達障害の子ども達の不器用さを感じさせない作品となり、自己肯定感を高めることにもなっている。</p> <p>2. 「はっぴー♡サロン」での子育て、介護の懇談会など実施 サロンでの交流や相談の場も少しずつ認知され、利用される方が何度となく訪れている。ハンドセラピーを楽しみにしてくれたり、自分自身が学びたいという声も聞かれる。今後も支援者を心の支え、居場所となる活動を続けていきたい。</p> <p>3. 講演会やセミナーの開催 講演会や学習会も興味を持たれた内容や定期的に行っている内容を続けてきた。プロジェクターなどの活用で、大きな会場以外でもスタッフが担当できる講座なども増えて、今後、費用のかかる講師の講演会にこだわる必要がない。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>はっぴー♡サロンは、今年度の最初は、第1土曜日に平塚市民活動センターでも開催をしていたが、利用者がスタッフのみのことが多く、スタッフの負担も考え、市民活動センター利用は、講演会や学習会のみにしていくように変更した。</p> <p>まちなかベースきちきちの開催日を当初は、土曜日、日曜日を織り交ぜていたが、日曜日には、参加者や人通りが少ないこともあり、覚えやすいように「毎月第3土曜日」という定期開催に変更した。そのお陰で、だいぶ認知されてきている。</p> <p>リピートの利用者は、増えてきているが、地域の方の利用があまり増えていないように思える。農福連携をしている小巻ファームの野菜を置いて、地域の方の利用を増やしていきたいと思っている。また、回覧板の中に折り込まれる地域の地図に毎月定期的に行っているまちなかベースきちきちのはっぴー♡サロンの掲載を準備している。</p> <p>ウエルカフェ（ウエルシア四之宮店）は、利用者が少ない。駐車場が広く、買い物ついでに利用するには良い場所なのであるが、個別の相談などが多いことから、今後はサロンにこだわらず、相談やセラピーの場としての活用に切り替えていくことも考えたいと思う。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>支援者（保護者）の疲弊も目の当たりにして、支援者のセルフケアや癒しについて今後支援をしていく必要を感じた。スタッフがいつもハンドセラピーをすることには限界があるので、支援者自身が自分や周りの方にもハンドセラピーやマインドフルネスができるように来年度はその活動にも力を注ぎたいと思う。また、活用しているハンドクリーム会社とコラボして、活動しやすいように協力を仰いでいきたい。</p> <p>これからも第3土曜日のまちなかベースきちきち、第4土曜日のウエルカフェのはっぴー♡サロンを続けていきたい。また、第2土曜日の発達障害の子ども達の就労体験「回覧板のお仕事」も続けていきたい。また、生徒の体験の場として宮松町の公園の整備のお手伝いも取り入れて、地域の皆さんにも活動を知ってもらいたいと思っている。</p> <p>講演会や学習会も身近な講師をお願いしたり、スタッフが行ったり、DVD、YouTubeなどの活用をしたりする。セルフケアの講演会もコラボ企業やスタッフなどが行い、普及活動をしていく。</p>

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
① 収入				
補助金	200,000	200,000	0	平塚市市民活動推進補助金
団体経費	15,000	999	-14,001	会員会費
講演会参加費	75,000	24,500	-50,500	講演会参加費500円×49人
収入合計	A 290,000	B 225,499	B-A -64,501	発展コース：補助対象経費 225,539 円 × 90 % = 202,985 円 補助限度額 200,000 円
② 支出				
印刷代	20,000 (20,000)	18,794 (18,000)	-1,206	チラシ制作・印刷等謝礼、インク代、広告掲載費、ポスター制作製用色鉛筆
会場費	60,000 (60,000)	52,500 (52,000)	-7,500	5,000円×10か月、2500円×1か月 (他団体とコラボ)、1か月無料月あり
講師謝礼	200,000 (110,000)	140,000 (120,000)	-60,000	講師謝礼、講師交通費
カフェ運営費	10,000 (10,000)	14,205 (10,000)	4,205	カップ、紙皿、マドラー、洗剤、説明用スケッチブック、ハンドクリーム
支出合計	C 290,000 (200,000)	D 225,499 (200,000)	D-C -64,501	
③ 収支決算額	B 225,499 円	-	D 225,499 円	= 0 円

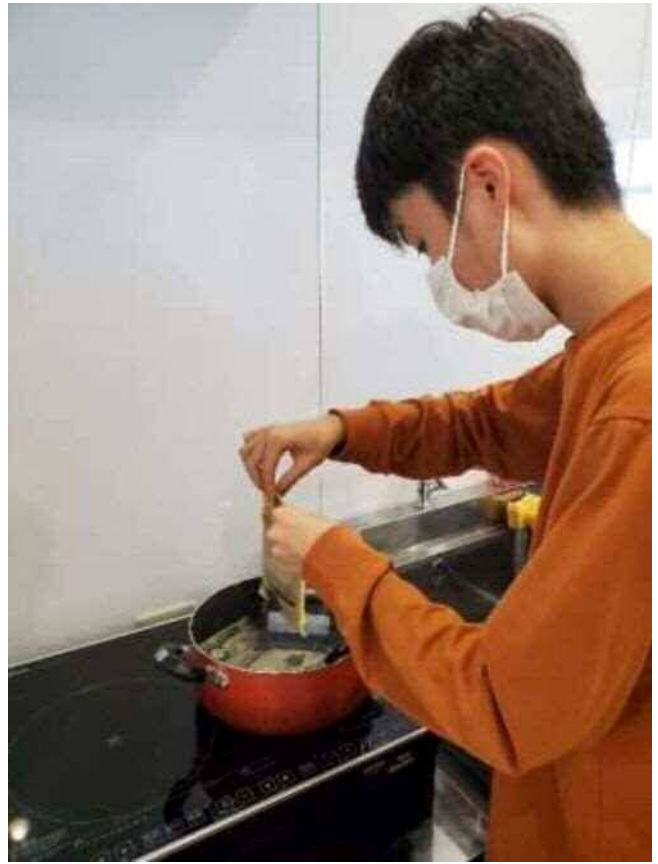
【備考】

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

カフェ定員の体験



レトルトカレー作り



和紙作り



ハンドセラピーを行いながらの傾聴



SQ教育講演会



スタッフによる学習会



令和4年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	あいあいリトミック	
2 事業名	0歳からの親子コンサートによる子どもの発達支援事業	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	33 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和4年4月1日 ~ (完了期日) 令和5年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>発達障がいへの疑いがあるといわれるグレーゾーンの子どもが、10人に1人いるといわれる昨今、生の音楽でコミュニケーション能力や、音楽能力の向上に役立つといわれるリトミックを用いて、子どもの発達の手助けを目的としている。子育て世代の中でも、孤立しがちな未就園児親子の居場所づくりや、0歳からのリトミックを用いた発達支援を行うと同時に、子育てに悩む親たちの“親育て”の場所になることを目指す。</p> <p>0歳からのコンサートに関していえば、平塚市ではほぼ開催されず、都心に出ないと聴く機会がない。</p> <p>そのうえ、この2年間はコロナ禍において、音楽の演奏は、ウイルスの飛沫感染を理由に、確実に減少している。</p> <p>外出に制限が出ている実情は、多感な時期に当たる子供たちにとっては、社会性・人間性を身に着ける場が、極端に減っているのである。</p> <p>コロナ禍でも、発達途中にある子供たちに生の音楽を、ハードルを低くして、聴いてもらいたいと思う。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>秋 / 春</p> <p>4月18日 / 10月25日打合せ開始</p> <p>6月6日 / 11月4日会場予約</p> <p>7月1日 / 2月1日チケット販売・リハーサル</p> <p>8月24日 / 2月26日リハーサル</p> <p>9月11日 / 3月5日本番・反省会</p> <p>9月11日 中央公民館にて開催</p> <p>◎ 0歳からのコンサートは小ホールで10時15分から11時15分 開催 参加者128名</p> <p>◎ 小学生向けコンサートは大ホールで14時から16時 開催 参加者86名</p> <p>3月5日 青少年会館にて開催</p> <p>◎ 0歳からのコンサートを10時から10時45分 開催 参加者55名</p> <p>◎ 幼児コンサートを11時30分から12時30分 開催 参加者88名</p> <p>◎ 小学生向けコンサートを14時～15時30分 開催 参加者47名</p>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。</p> <p>また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。</p>	<p>平塚市で0歳からのコンサートを開催できたことが一番の成果である。 参加者総数は、404名。コンサートを機に、定期リトミックにも来てくださり、 生活の中に新たに音楽を取り入れてくれた方もいる。 2回目の令和5年3月のコンサートでは要支援のお子様も来てくださり、 健常児と共に参加し、インクルーシブ教育への活路を見出すことが出来た。 障がいを抱えている方でも、音楽に興味を持ち、参加してくれる方がいたこと で、我々も活動するモチベーションが上がった。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。</p> <p>また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。</p>	<p>1度目に行ったコンサートのアンケートで、“0歳と幼児を分けて欲しい”との 要望が数件あったため、2度目のコンサートでは3部制にした。 そのため、2部の幼児クラスがお昼を跨いだので、そこは次回の改善点である。 また、会場に関しても、ステージがある場合とフラットな場合のメリット・ デメリットがあるので、プログラムを見直さなければならない。</p> <p>9月のコンサートでは入場方法が分かりずらく、入り口が混雑してしまった ので、入場方法をチェック式に変更した。</p> <p>最初のコンサートの際、行政の方からチラシ配布を行ってもらい広報したが、 次は団体の方でとの申し出があったので、広報活動を行った。 そこで教育の場にチラシの配布ができることが分かり、新たな周知の場が 見つかった。 そのことで、障がい者も数名参加があり、我々団体が目指している、インクルー シブ教育の基である、健常者と障がい者が一緒に活動する場の提供ができた。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してください。</p>	<p>年2回の主催コンサートは今後も継続していくのだが、音楽の専門性を活かした 我々が今後目指していくことは、行政や企業と提携し、対象の世代だけで なく指導者や教育者も巻き込んで、音楽で人生の生きる術を見出すお手伝いを 多世代にしていきたい。</p>

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
① 収入				
補助金	330,000	330,000	0	平塚市市民活動推進補助金
コンサート参加費	280,000	266,835	-13,165	◎ 0歳からのコンサート 9/11 90,500円 3/5 34,500円 幼児コンサート 3/5 62,000円 ◎ 小学生向けコンサート 9/11 67,335円 3/5 12,500円
寄付	0	13,779	13,779	会員からの寄付13249円 募金箱での寄付530円
収入合計	A 610,000	B 610,614	B-A 614	発展コース：補助対象経費 557,089円 × 80% = 445,671円 補助限度額 330,000円
② 支出				
会場費	65,200 (10,000)	54,300	-10,900	具体的な内容 (積算根拠等)
講師謝礼	290,000 (200,000)	234,591	-55,409	講師料 9/11◎ 2人分20,000円 ◎ 10人分125,000円 3/5 5人分 38,000円 リハ交通費 9/11◎ 12,600円 ◎ 36,991円 3/5 2,000円
機材費	97,970 (97,970)	120,795	22,825	マイク21,083円 会場機材代99,712円
事務・消耗費	51,780 (16,200)	62,589	10,809	ポスター A2 A4 16,100円 使い捨てペン798円 PC用紙1,094円 PCインク21,853円 フライヤー20,900円 ファイル等1,844円
制作材料費	29,250 (5,830)	21,431	-7,819	楽器 9/11◎ 4,904円◎ 6,283円 3/11 660円 お面6,204円 布800円 パワハルレーン1,680円 スカーフ900円
雑費	75,800 (0)	116,908	41,108	9/11◎ ボランテニア11,000円お弁当13,783円◎ お弁当18,393円 3/5ボランテニア16,000円お弁当20,132円 保険代◎ 5,488円◎ 3,696円 著作権12,282円 振込手数料3,640円 通信費1,357円 ユニホーム5,740円 駐車場代5,280円
支出合計	C 610,000 (330,000)	D 610,614 (330,000)	D-C 614	
③ 収支決算額	B 610,614円	- D 610,614円	= 0円	【備考】

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

あいあいリトミック



9/11 中央公民館コンサート
活動風景



9/11 中央公民館コンサート
リトミック風景

あいあいリズム



3/5 青少年会館コンサート
2部風景



3/5 青少年会館コンサート
3部風景

令和4年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	ママぎゅっと	
2 事業名	ママぎゅっと「ひらつかママ子育てレポート」	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	28 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和4年4月1日 ~ (完了期日) 令和5年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>① ママの子育ての実態をリサーチする コロナ禍もあり、ママ同士のつながりが希薄になり、ママが孤立している。その要因としては、つながりを持つ機会、繋がりを深める機会も少ないことであるとママぎゅっとの活動の中で感じている。そこで平塚のママの興味関心と悩みを調査することで、実態を把握し子育てに必要な繋がりを創出する一助とする。また、平塚の魅力を見出すとともに、調査結果をママ向けの企画立案に役立て、平塚市のブランディングに繋げる。</p> <p>② ママの発信力を鍛える 平塚の魅力を子育て目線で発信することのできる人材を増やし、定住促進を行う。また、平塚市に興味を持つ親子に向けて、平塚の魅力を発信し、移住促進を行う。ママが発信力を鍛えることで、自分の特技で起業した時のスキルとして役立ててもらう。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>① ママアンケート調査 雇用形態やママの収入、子どもの数などのほか、利用する公園などの公共施設、商業施設、悩み、興味関心などを調査する。 目標1,000人、結果629名の回答を得ることが出来た。ウェブアンケートフォームを利用し、アンケート集計結果は、ママぎゅっとHPにPDFにて掲載している。</p> <p>② ママ記者を育成する。 地域媒体の記者などから取材方法や写真撮影など、プロのコツを学び、ママ記者を育てる。実際に平塚のまちを取材し、魅力を発信してもらう。 第一回ママ記者養成講座：2022年7月2日 講師/タウンミューズ平塚版記者小澤様/参加者10名@市民活動センター 第二回ママ記者養成講座：2022年7月16日 講師/湘南ジャーナル代表定成様/参加者9名@ひらしんホール会議室 第三回ママデザイナー養成講座：2022年10月8日 講師/湘南スタイルライター雨宮様/参加者10名@市民活動センター 第四回ママデザイナー養成講座：2022年10月30日 講師/デザインこねこ様/参加者9名@ひらしんホール</p> <p>③ 「ひらつかママレポート」10,000部発行 アンケート調査の結果から、ママ記者が実際に現地に入って取材をし、まとめて紙面を作成。市内の幼保小中学校のママ、平塚市内各支援団体へ配布、協働推進課への連携、平塚子ども子育てネットワークへの共有。</p>	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>① ママアンケート実施では629人のママの声を集めることができた。平塚市の子育てで必要なことは、やはり身近な「情報」であることがアンケート結果からわかり、次年度のママぎゅっとの事業では「情報」をより身近に感じることでできるサイトの構築を行うことを決めた。アンケート回答者への呼びかけにより、ママぎゅっとと新しいママとのつながりができた。その結果、ママぎゅっとのインスタグラムの更新を担当してくれるママ、シェアディナーを手伝ってくれるママが増えた。アンケートを実施したことに対する感謝の声も多く、子育ての悩みや思いを相談したり、語る場の必要性を感じることもできたので、今後、ママぎゅっとのイベント等を実施するときの、土台となる声を集めることができた。また、ママたちの声をまとめたレポートを配布することで、平塚の魅力をさらに多くの平塚ママに届けることができた。ママレポートとアンケートの結果はママぎゅっとのHPにも掲載しており、平塚市外の方にも広く平塚の魅力を発信することができたと感じている。また、アンケート結果の分析や集約も、子育てをしているママたちに依頼することで、平塚のママ同士のつながりのきっかけも増えた。</p> <p>② ママ記者たちは取材の過程で、平塚の魅力に気づき、伝えていく難しさと楽しさを知ることができた。また、普段の生活の中では出会えない人との出会いが、とてもよかったという声が多かったです。実際に参加した方の声：「平塚歴40年でも知らない場所がたくさんありました！そして平塚の自慢できるポイントが増えてもっと平塚を好きになりました」「自分自身、取材というものはじめてしてみて、どんなお店の方の話を深く聞くことでそのお店の事がより好きになり創業の思いや今の現状の悩みや過去の葛藤などを聞ける機会が大変いい機会になりました。長年愛されてる素敵なお店にも、色々な思いや夢があり今も尚成長し続けて前に進む姿は、私にとっても学びでした」</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>アンケートの集計に時間がかかってしまい、より計画的に行うことで作業者の負担を減らせると思った。また、集まったママたちの今後のつながりについて課題を感じていたが、苦楽を共にすることで、自然とつながりが広がっていった。また、ママぎゅっとの活動に参加してくれるママがいるか心配だったが、活動の中で、お互いを知ることができ、コアメンバーも増えた。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>ママアンケートの結果を、平塚市子育て支援ネットワークのアンケートプロジェクトの中でも共有し、より精度の高いママの声を集める一助していく。アンケートの内容を引き続き分析し、ママに必要な支援について、企業、各支援団体と意見交換を行なっていく。ママ記者、ママデザイナーたちをさらに増やし、次年度の事業であるママ情報ポータルサイト「sopo（そぼ）」に活かしていく。＊sopoはフィンランドでかわいいの意味。</p>

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)	
補助金	280,000	280,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
① 収	40,000	46,306	6,306	団体予算	
入					
収入合計	A 320,000	B 326,306	B-A 6,306	発展コース：補助対象経費 326,306 円 × 90 % = 293,675 円 補助限度額 280,000 円	
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
ママ記者謝礼費	100,000 (100,000)	100,000	100,000 (100,000)	0	取材、執筆、調査まとめ費、交通費込み20,000円/1人×5名
誌面デザイン謝礼費	40,000 (40,000)	40,000	40,000 (40,000)	0	アンケート募集チラシデザイン、ママレポートデザイン 20,000円/1人×2名
印刷費	65,000 (60,000)	70,086	70,086 (60,000)	5,086	アンケート募集チラシ(A5:3,000部/4694円)、ママレポート(A4二つ折り:1万部/65392円)
雑費	5,000 (5,000)	6,220	6,220 (5,000)	1,220	コピー代:520円、会場費(ひらしんホール):2500円、会場プロジェクトマネージャー レンタル費:1700円、取材申請費(平塚八幡山公園、湘南平):1500円
ママ記者養成講座講師費	40,000 (40,000)	40,000	40,000 (40,000)	0	全2回の指導、添削費1回(1時間程度)あたり謝金20,000円×2回
誌面デザイン養成講座講師費	40,000 (30,000)	40,000	40,000 (30,000)	0	全2回の指導、添削費1回(1時間程度)あたり謝金20,000円×2回
広報費	30,000 (5,000)	30,000	30,000 (5,000)	0	インスタ広告(15,000円×2回実施)
支出合計	C 320,000 (280,000)	D 326,306	326,306 (280,000)	D-C 6,306	
② 収支決算額	B 326,306 円	- D 326,306 円	=	0 円	【備考】

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

mama gyuuutto
mama report vol.01



公募で集まったママ記者&デザイナーが集合！

ママ記者&デザイナー
養成講座 キックオフ



vol.1 取材の基礎

2022年7月2日 ひらつか市民活動センター
講師/ (株) タウンニュース社
記者 小澤花苗さん

vol.2
マーケティング



2022年7月16日
ひらしん平塚文化芸術ホール
講師/ (株) 湘南ジャーナル
定成幸代 代表



vol.3
デザインと企画

2022年10月8日
ひらつか市民活動センター
講師/フリーライター
雨宮ちえみ さん

vol.4
デザインとトンマナ



2022年10月30日
ひらしん平塚文化芸術ホール
講師/ (株) デザインこねこ
長嶺貴和 代表
デザイナー
和田美奈 さん

mama gyuutto



ママ1000人アンケート 629人が回答



取材にGO！

2022年11月～2023年2月

アンケート結果から
子連れ遊びスポット
平塚のお土産などを
取材&記事にチャレンジ！

表紙モデル 撮影 メイク
デザインなども
オールひらがママで



ついにママレポが完成！

10000部の配布スタート

2023年3月

HPではさらに詳しいアンケート分析も公開！

